

愛知県議会議員

しもおく奈歩です



豊橋市と県政を
結んで

「花男子」の文化広げようと提案



東三河は花き産業日本一

しもおく奈歩県議は、2月議会の予算質疑で、花き産業の振興について質問しました。愛知県は花き生産日本一を誇っています。中でも、豊橋を中心とする東三河が日本一の産地！重要な地場産業の一つであり、将来の東三河の経済産業を支える不可欠の重要な産業です。

「花男子」で活性化

しかし、一方で消費が減少傾向となっています。しもおく奈歩県議は豊橋の「花男子」というヨーロッパの男性から女性に花を贈ると言う文化を参考にした、おしゃれな取り組みを紹介。また、愛知の花をブーケにしてバレンタインに男性から女性に花を贈る「フラワーバレンタイン」も紹介。



男性も女性も互いに尊敬する文化

しもおく奈歩県議は、質疑で「男性も女性も尊重し合う文化を愛知に根付かせる取り組みとして位置づけ、豊橋に学び県下全体で「花男子」やフラワーバレンタインを大いに普及拡大してはどうか」と提案。県当局は「花男子は、県内のイベントでも活躍している。引き続き、花贈り文化の定着に努める」と答弁。



住み続けられる
地域づくりを

地域公共交通の充実

地域を巡回する コミュニティバス必要

しもおく奈歩県議は、振興環境委員会で地域の公共交通、特にコミュニティバス拡充を求め質問しました。

愛知県は「あいち公共交通ビジョン」を策定しました。しかし、内容は安倍政権の成長戦略にしているリニアや中部財界が熱心な空港を拠点とした公共交通ネットワークを前面に打ち出したものに。県民に密着した生活交通は後ろの方へ追いやられています。

リニアや空港のためではなく生活交通の充実・コミュニティバス拡充が今求められています。しもおく奈歩県議は、コミュニティバスなど生活交通への県独自の財政支援を求めました。

市町村と
繋いで

今回質問するにあたり各市町村議員の方々に地域の状況を教えていただきました。たくさんの地域の願いを県当局にぶつけることができました。

地元の声を
県政へ

豊橋の花農家・ お花屋さんへ

しもおく奈歩県議は、事前に後援会の方と一緒に花農家へ行きました。農家の方は「花は心に潤いを与えるもの」「国内消費を増やすことが大事」とはなしていました。

市内のお花屋さんへも行って、「花はメッセージや気持ちを伝える役割がある」と聞きました。議会で現場の声も紹介しました。



花と緑の
まちづくり

他県ではこういうところも！

兵庫県淡路島では…

しもおく奈歩県議は、以前兵庫県淡路島へ行きました。そのときに淡路島には、県立淡路島景観園芸学校があるということを知りました。その学校は、ガーデニングもしており、一般の観光客にも開放しています。県民向けの街づくりガーデナーコースも開いており、地域の自然を生かしたまちづくりと一体に花と緑の良さを伝えていくという思いが感じられました。



県民の声が県政を動かす

特別支援学校
全教室空調化

特別支援学校の全ての教室で空調設備が実現！今年度はその1/3の284教室の設計。また、肢体不自由特別支援学校全てのトイレ洋式化、床の乾式化が始まります。

軽度中等度
難聴児補聴器の
購入補助

身体障害者手帳交付とならない軽度・中等度の難聴児の補聴器購入助成が実現！

学童保育
助成の充実

放課後児童クラブへの運営費・整備費が増額！標準規模学童の補助基準単価が374万円から431万円に。また、指導員の賃金を月1～3万円引き上げ。

県営住宅
維持修繕

県営住宅の維持修繕費が、県民の声が届きはじめ、5年間連続の増額で約14億円(42%)増！一歩ずつ前進。

県民の声が県政を動かす

特別支援学校 全教室の空調化

特別支援学校の全ての教室で空調設備が実現します。今年度はその1/3の284教室の設計。また、肢体不自由特別支援校の全てのトイレの洋式化、床の乾式化が始まります。

軽度中等度難聴児 補聴器の購入補助

身体障害者手帳の交付対象としない軽度・中等度の難聴児の補聴器購入費助成が実現しました。9月議会で尾張旭市の女性が委員会で陳情し、わしの議員が賛成意見を述べました。

学童保育 助成の拡充

放課後学童クラブへの運営費・整備費が大きく増額されました。標準規模学童の補助基準単価が374万円から431万円に。また、指導員の賃金を月1~3万円引き上げる予算となりました。

県営住宅 維持修繕

維持修繕費は、財政危機などを口実に半減されてきました。居住者の皆さんの声がようやく届き、5年間連続の増額で約14億円(42%)増えました。「きれいな県住」に一步前進です。

県議会 に請願

リニア新幹線の 建設中止など



県民の切実な思いを背負って起立する共産党県議団

2月議会に、わしの・下奥両議員が紹介者となった下記の3件の請願書が提出され、付託委員会において請願者の口頭陳述など活発に議論されました。本会議採決で共産党県議団は賛成しましたが、他会派が賛同せず不採択となりました。

請願書	要請団体名	紹介議員
「消費税10%増税の中止を求める意見書」を求める請願	消費税をやめさせる愛知連絡会	日本共産党
設楽ダム事業からの撤退を求める請願	設楽ダムの建設中止を求める会	日本共産党
リニア中央新幹線工事の中止を求める請願	リニアを考える愛知県連絡会	日本共産党

核兵器廃止を 愛知県から世界へ



被爆者の 声に応え 県知事は 署名を

わしの議員が壇上から訴えました。「平均年齢80歳を超えた被爆者は、生きていく間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。そして『再び被爆者をつくるな』と人生の最後の力を振り絞って訴えています。大村知事の署名は、愛知県民ばかりか、核兵器廃絶を求める世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。大村知事の署名を心から訴えます。」

「政府は国連会議に参加を」 共産党が議会意見書を提案

「花男子」の文化広げよう

下奥議員は、花き産業の振興について県当局を質しました。

花き産業は、愛知県は日本一の生産を誇っています。中でも、豊橋を中心とした東三河地方は日本一の産地で、地場産業として地域経済の発展に欠かせない産業となっています。



東三河は花き日本一

下奥議員は、男性から女性に花束を贈る「花男子」の取り組みやバレンタインに男性が女性に花を贈る「フラワーバレンタイン」の取り組みを紹介し「単なる消費拡大としてだけでなく、男性も女性も尊重し合う文化を愛知に根付かせる取り組みとして位置づけ、豊橋に学び県下全体で『花男子』やフラワーバレンタインを普及拡大してはどうか」と提案。

当局は「花男子は、県内のイベントでも活躍している。引き続き、花贈り文化の定着に努める」と答弁しました。

ご意見をお寄せください。

日本共産党

電話 052-954-6716 FAX 052-961-5420

ホームページ <http://jcp-aichi-kenngi.jp/>